

1. 取得可能学位

(1) 博士前期課程

博士前期課程の修了要件は、次に定める各科目群の単位数を 合計30単位以上 取得し、学位(修士)の審査に合格することをもって修了とします。

標準修業年限は2年です。4年を超えて在学することはできません。休学期間は在学期間から除かれます。

①語学系科目群

1科目以上を選択し、2単位以上 を取得する。

②学際系科目群

1科目以上を選択し、2単位以上 を取得する。

③専門科目群

4科目以上を選択し、合計8単位以上 を取得する。

④交流実験科目群

1科目選択し、1単位 を取得する。

⑤理工学研究科目群 (必修)

全6科目、合計15単位 を取得する。

(2) 博士後期課程

博士後期課程は、学位(博士)審査に合格することをもって修了とします。

標準修業年限は3年です。

2. 取得可能学位

(1) 博士前期課程

修士 (理工学)

(2) 博士後期課程

博士 (理工学)

3. CAP制 (キャップ制) 履修単位数の上限設定

単位取得に必要な学習時間の確保のため、一学期に履修登録できる総単位数に上限を設定しています。

- 履修上限単位 理工学研究科目、他大学院等で開講される科目を除いて 各学期16単位

4. GPA (Grade Point Average)

学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表したものです。具体的な算出方法については次のとおりです。

【GPA計算方法】

GPAを算出する際は、成績評価を受けた修了要件に含まれる全ての科目を対象として算出します。(他大学院等で取得した単位を認定した場合の単位は、GPAに算入しません。)

①成績に付与されるGP

成績評価	秀	優	良	可	不可	未受験欠席	認定
点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下	—	—
GP (Grade Point)	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0	対象外

②GPA計算式

<small>不可には未受験欠席も含む</small>
↓
$\frac{(4 \times \text{秀の単位数}) + (3 \times \text{優の単位数}) + (2 \times \text{良の単位数}) + (1 \times \text{可の単位数}) + (0 \times \text{不可の単位数})}{\text{履修単位数}}$
※成績が「不可」又は「未受験欠席」の科目は、GPは0となりますが分母の「履修単位数」に当該科目の単位は含まれます。また、小数点第2位以下を四捨五入して表記します。

③学期GPAと通算GPA

- 学期GPA・・・その学期で評価を受けた科目により算出したGPA
- 通算GPA・・・各学期に評価を受けた科目の総和により算出したGPA

5. 履修中止制度

履修中止制度とは、一定期間履修し「授業内容が期待していたものと違う」・「授業を理解するための知識が無かった」等の理由により、学期の途中で履修を中止することを認める制度です。履修の中止を認めた科目はGPAに算入しませんので、履修を継続する科目の学修に専念してください。

6. GPAの成績証明書への記載

成績証明書には、GPAを記載しません。但し、進学・就職でGPAの記載が必要であり、本人が希望する場合は『通算GPA』のみを記載することができます。

また、『学期GPA』並びに『通算GPA』については各学期初めに通知します。

7. GPAの活用

GPAの活用事例は下記のとおりです。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">－各種奨学金の選考資料－表彰者選考資料－企業への推薦者決定の参考資料など |
|--|

8. 成績について

成績評価は、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」、「欠席」、「認定」があります。

評価	点 数
秀	100 ～ 90点
優	89 ～ 80点
良	79 ～ 70点
可	69 ～ 60点
不可	59 ～ 0点
欠席	評価しない (成績表に記録されます)
認定	—

大学院における授業科目・単位数・修了要件〈博士前期課程〉

科目群	科目名	単位数	修了要件		
【語学系科目】	English Presentation Skill	2	選択科目 1科目2単位以上		
	English for Scientists and Engineers	2			
	Math and Science in English	2			
【学際系科目】	製品開発特論	2	選択科目 1科目2単位以上		
	産業財産権特論	2			
【専門科目】	(生命系)	人体の構造と機能	2	選択科目 4科目8単位以上	
		バイオ・メディカルフォトンクス特論 ※開講しません。	2		
	(材料系)	有機材料工学	2		
		高分子オプティクス	2		
		分子光エレクトロニクス	2		
	(物理・電子系)	電子光材料特論 ※開講しません。	2		
		量子エレクトロニクス特論	2		
		光科学特論	2		
		光物性測定特論	2		
		半導体光集積デバイス	2		
		エレクトロニクス特論	2		
	(通信制御系)	光通信技術特論 ※2022年度は開講しません。	2		
		通信技術概論 ※2022年度は開講しません。	2		
		メカトロニクス	2		
	(情報系)	情報技術特論	2		
		データ活用特論	2		
		シミュレーション工学	2		
	(人間・教育工学系)	ヒューマンファクターズ特論	2		
		感性工学	2		
		教育工学特論	2		
	【交流実験科目】	応用化学生物学実験	1		選択科目 1科目1単位
		電子光工学実験	1		
		情報システム工学実験	1		
【理工学研究科目】	理工学特別演習Ⅰ	2	必修科目 6科目15単位		
	理工学特別演習Ⅱ	2			
	理工学特別演習Ⅲ	2			
	理工学特別研究Ⅰ	3			
	理工学特別研究Ⅱ	3			
	理工学特別研究Ⅲ	3			

※隔年開講の科目もあるので、履修登録の際には注意してください。

※北海道異分野連携教育事業教育プログラムは別途ポータルサイトで案内します。

〈博士後期課程〉

科 目 名	修 了 要 件
理工学特定研究（研究指導）	学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること